

平成 2 2 年度

事業報告書

自 平成 2 2 年 4 月 1 日

至 平成 2 2 年 6 月 3 0 日

財団法人 立石科学技術振興財団

目 次

1 .	事業報告	1
-----	------	---

事業の概要

収 支

2 .	主要業務日程	2
-----	--------	---

1. 事業報告

(1) 事業の概要

当期（平成22年4月～6月）は、平成22年度前期国際交流助成の一部助成と5月に第1回立石賞授賞式と第21回目にあたる平成22年度助成金贈呈を行い、引き続き平成23年度の助成活動の公募から選考、承認迄を行いました。また、平成22年度後期の国際交流助成の募集も実施いたしました。

平成22年度の助成は、

研究助成	19件	小計	41,520,000円
前期国際交流助成	2件(4件)	小計	560,000円(1,430,000円)
立石賞	2件	小計	10,000,000円
		合計	52,080,000円

でした。

注1) 前期国際交流助成における()は決定助成件数とその助成金額です。

(2) 収 支

I 事業活動収支の部において、

注2) 予算は、平成22年度(4月～3月)の計画であり、決算は当期(4月～6月)の実績です。

収入は、予算額 60,260,000円に対して、決算額は 39,802,919円(対予算比 66%)となり、20,457,081円下回りました。これは主として基本財産下期配当金未収入と基本財産下期利息未収入によるものです。

基本財産の運用収入合計は、予算 49,750,000円に対して、決算額は 29,412,694円(対予算比 59%)となり、20,337,306円下回りました。

内訳は、基本財産利息収入が予算 13,000,000円に対して、3,162,694円(対予算比 24%)となり、9,837,306円下回りました。

基本財産配当金収入は、予算 36,750,000円に対し、決算額は 26,250,000円(対予算比 72%)となりました。

寄付金収入は、予算 10,200,000円に対し、決算額は 10,200,000円(対予算比 100%)となりました。

支出については、事業活動支出予算額 85,170,000円に対し、決算額 57,420,827円(対予算比 68%)となり、27,749,173円 支出が下回りました。

II 投資活動収支の部において、

助成事業積立資産取崩収入は、予算額は 30,000,000円の取り崩し計画に対し、計画通り 30,000,000円の取り崩しを実施し、助成金に引き当てました。

助成事業積立資産積立支出は、予算額は 0円の積立計画に対し、積立金も 0円となりました。

期末資産として

基本財産	オムロン株式会社株式	5,095,125,000 円
	(262.5 万株、 6 月 3 0 日現在の単価 1,941 円/株で計算)	
	有価証券等	1,100,000,000 円
特定資産 (事業積立資産)	有価証券等	70,000,000 円
	合計	6,265,125,000 円

2. 主要業務日程

(1/1)

年 月 日	内 容
平成22年3月28日	主務官庁に届出 ・平成22年度事業計画及び収支予算
4月1日～6月30日	平成22年度後期国際交流助成の申請応募受付
4月1日	平成22年度前期国際交流助成金の送金開始 ・前期国際交流助成 2件 560,000円 (4件 1,430,000円)
5月14日	第45回臨時理事会の開催 ・新評議員の選任の件
5月18日	第1回立石賞授賞式並びに第21回(平成22年度)助成金贈呈式及び懇親交流会開催 ・立石賞 2件 10,000,000円 ・研究助成 19件 41,520,000円
5月19日	平成22年度研究助成金の送金開始
6月15日	第46回理事会、第45回評議員会開催 ・平成21年度事業報告及び決算報告の承認 ・株主権行使の承認 ・平成23年度助成課題募集方法の承認
6月28日	主務官庁に届出 ・平成21年度事業報告及び決算報告
7月1日	公益財団法人として登記